

三宅村 議会だより

第44号

2023.02.22



写真：令和5年三宅村二十歳を祝う会

目次

令和4年第4回三宅村議会定例会で審議された議案	2
令和4年第4回三宅村議会定例会 議決結果	3
村政を問う（一般質問）	4
議長報告書	9



令和4年第4回三宅村議会定例会
(会期：12月7日～8日)
で審議された議案

承認第1号

令和4年度三宅村一般会計補正予算(第6号)に係る専決処分承認について

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5309万9千円を追加し、総額43億4277万9千円となります。

主な内容は、新型コロナウイルススワクチン接種事業、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金等の増額補正を承認しました。

議案第1号

三宅村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告ならびに国制度に準じて、三宅村職員及び任期付職員の給与に関する条例の一部を改正するものです。

議案第2号

三宅村長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告に準じ、三宅村長等の給料に関する条例の一

部を改正するものです。

議案第3号

三宅村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に準じ、三宅村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正するものです。

議案第4号

三宅村教育委員会教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に準じ、三宅村教育委員会委員長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正するものです。

議案第5号

三宅村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

三宅村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正するものです。

議案第6号

三宅村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

定年引上げを目的とした地方公務員法の一部改正に伴う改正です。これにより、職員の定年は65歳までに引き上げられました。

議案第7号

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

定年引上げを目的とした地方公務員法の一部改正に伴い、関係条例を整備するものです。

議案第8号

令和4年度三宅村一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4082万円を追加し、総額44億8359万9千円となります。

主な内容は、IRUケーブール新設工事増加に伴う情報通信基盤施設管理や、介護人材緊急確保対策事業等の増減額補正です。

議案第9号

令和4年度三宅村国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれ

ぞれ38万7千円を追加し、総額4億2901万7千円となります。主な内容は、職員給与費等の増額補正です。

議案第10号

令和4年度三宅村国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1012万4千円を追加し、総額3億9530万1千円となります。

主な内容は、医療従事者確保のための報酬等の増額補正です。

議案第11号

令和4年度三宅村介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1176万2千円を追加し、総額3億4195万7千円となります。

主な内容は、交付金変更やシステム改修補助事業による増減額補正です。

議案第12号

令和4年度三宅村簡易水道特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2149万4千円を追加し、総額3億2983万6千

円となります。主な内容は、事業確定や職員共済費等の増減額補正です。

議案第13号

東京都と三宅村との間における旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託に関する規約の一部を変更する規約

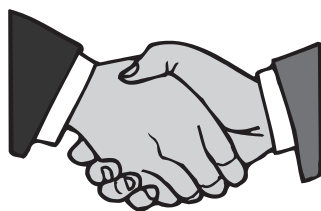
旅券法の一部を改正する法律の施行に伴い、東京都と三宅村との間における旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託に関する規約の変更です。

認定第1号

令和3年度三宅村一般会計及び特別会計決算の認定について

- (1) 令和3年度三宅村一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和3年度三宅村国民健康保険(事業勘定)特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和3年度三宅村国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和3年度三宅村介護保険(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和3年度三宅村簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和3年度三宅村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

三宅村議会だより



令和3年度の各会計の決算が認定されました。

【一般会計決算】

歳入総額47億5008万3千548円、歳出総額45億5320万2355円。

【特別会計決算】

○国民健康保険（事業勘定）
歳入総額4億335万5573円。歳出総額3億8953万5858円。

○国民健康保険（直営診療施設勘定）
歳入総額3億1219万6984円、歳出総額3億1153万9154円。

○介護保険（保険事業勘定）
歳入総額3億5567万7617円、歳出総額3億364万7494円。

○簡易水道
歳入総額3億3191万8759円、歳出総額3億1036万5273円。

○後期高齢者医療
歳入総額7293万583円、歳出総額7044万6848円。

令和4年第4回三宅村議会定例会 議決結果

議案番号	議案名	審議の賛否						議決結果
		石井肇	曾我部宏一	北川博史	佐久間正文	沖山肇	木村靖江	
承認第1号	令和4年度三宅村一般会計補正予算（第6号）に係る専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	承認
議案第1号	三宅村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	三宅村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	〃
議案第3号	三宅村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	〃
議案第4号	三宅村教育委員会教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	〃
議案第5号	三宅村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	〃
議案第6号	三宅村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	〃
議案第7号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	〃
議案第8号	令和4年度三宅村一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	〃
議案第9号	令和4年度三宅村国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	〃
議案第10号	令和4年度三宅村国民健康保険（直営診療施設勘定）特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	〃
議案第11号	令和4年度三宅村介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	〃
議案第12号	令和4年度三宅村簡易水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	〃
議案第13号	東京都と三宅村との間における旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託に関する規約の一部を変更する規約	○	○	○	○	○	○	〃
認定第1号	令和3年度三宅村一般会計及び特別会計決算の認定について (1)令和3年度三宅村一般会計歳入歳出決算 (2)令和3年度三宅村国民健康保険（事業勘定）特別会計歳入歳出決算 (3)令和3年度三宅村国民健康保険（直営診療施設勘定）特別会計歳入歳出決算 (4)令和3年度三宅村介護保険（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算 (5)令和3年度三宅村簡易水道特別会計歳入歳出決算 (6)令和3年度三宅村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	認定

※表中の記号：○…賛成 ×…反対 -…欠席

村政を問う

5人の議員が一般質問

平川 大作

議員



問 緊急ヘリについて

緊急ヘリのおかげで多くの人が助かっています。緊急手術のできない本村においては、命をつなぐ最後の希望であり手段です。

しかし、現在中央診療所から救急車で運ばれていくときの担架を広尾病院から送り返さなければなりません。これが患者にとって大変な負担になっています。

コロナ禍であり、一定以上の所得がある75歳以上の方の医療機関等の窓口で支払う医

療費の自己負担が10月1日から2割負担になり「大変だ、少しでも節約しなければ医療費も払えない。何とかしてくれ」と多くの方から声が届いています。
この担架の補助が必要と考えますが、どう考えるかお聞きします。

答 消防長

緊急ヘリでの搬送時にストレッチャーから乗せ替え回数を減らす、患者の苦痛の軽減をするため、中央診療所から搬送先の病院まで消防本部の担架を使用して搬送しております。

使用した担架は、患者、またはそのご家族の負担で入院病院から消防本部へ返送していただいております。この重症患者の体の負担軽減を優先とし、担架の乗せ替え回数を最低限のものとするのは、診療所の医師とともに共通の認識です。

現在、がん患者や難病患者は、運賃、宿泊補助をしているものの、その他、緊急ヘリ

を要請しない都内入院の場合は、船賃や航空運賃、また民間救急車の利用料、松葉づえ、車椅子のレンタル料などは患者自らのご負担としていただいております。

これらの患者の負担の均衡を図るため、従前どおり患者については、従前どおり患者やご家族の負担で対応していただきたいと思います。

再 補助でなくても、ほかの手段があつて、患者の負担がなくなるようであれば結構ですが、どうですか。

答 福祉健康課長

難病の医療費の交通費助成、がん対策の推進事業は、交通費および宿泊費の補助があります。それに付随した松葉づえ、あるいは車椅子のレンタル料など、ほかにもいろいろあるわけですが、そうした費用は基本的には全部ご自身で負担いただいております。制度の整合性、そして均衡が崩れてしまうことから、先ほどご要望のありました担架の返却の件につきまして、は従前どおりご本人にご負担いただくということでもよろしくお願ひしたいと思います。

なお、返送にかかる費用ですが、広尾病院から三宅の消防本部へ返却する場合、2000円くらいだと承知してお

ります。ちなみにヘリ搬送の年間件数は30件程度です。
再 取りあえず何らかの手段がないか、方法がないか模索していただけないでしょうか。

答 福祉健康課長

この問題は本島に限らず、他島でも同様の課題です。ほかの島でも基本的には患者、あるいはご家族に負担していただいているものですが、ほかの島の状況等、また注視しながら、その上で対応を考えたいと思っております。

問 コロナの発生についての対応について

コロナ感染症が第8波に入ったといわれ日々都内で増える中、コロナ対応の方法が変わり、村民の皆さんからコロナに感染したらどうしたらよいのか分からないとご指摘を受けました。もし良かった場合は、どうしたらよいのかお聞きしたいと思います。

また、IP電話で村の中の新型コロナウイルス感染症の発生人数を周知することが必要ではないかと考えますが、この2点についてお聞きします。

答 福祉健康課長

発熱等の症状が出たときの対処方法ですが、中央診療所



に電話で相談いただいた上で、診療所の指示に従い受診をお願いいたします。

一方、重症化リスクの低い方は、ご自身で抗原検査キットで検査をするなど、さまざまな方法もあることから、住民の皆さまには混乱を生じている可能性もございます。

そこで、発熱等の症状が出たときの流れのチラシを作成して全戸配布してまいります。

次に、コロナ陽性者数の公表ですが、政府対策本部による「ウィズコロナに向けた政策の考え方」により、新型コロナウイルス感染症患者の全数把握が全国一律で見直され、4点ありまして、1点目は65歳以上の方、2点目が入院を要する方、3点目が妊婦、4点目が重症化リスクが

あり、かつ新型コロナウイルス治療薬、または酸素投与が必要な方について限定して9月26日から発生届が出されております。

そのため、従前のように三宅村の新規感染者数の全数把握はできないことから、ホームページおよびIP告知端末での公表は取りやめることといたしました。

なお、島内で急激な感染拡大等が懸念され注意喚起が必要なときは、これまでどおり、村内放送等により住民の皆さまへの啓発活動を行ってまいります。

再 本当に困っているのは村民の皆さんです。村民の皆さんにぜひ周知していただきたいです。

国の方針が変わりましたが、村独自で発表することも可能ではないかと思えます。どのぐらいの人数が出たら周知するんですか。

答 福祉健康課長

島内における全数把握ができませんので、人数の基準を設けて放送すること自体が困難です。

村内の受診者、受診状況、あるいは全国的な感染状況等、さまざまな状況を見ながら、注意喚起を図ってまいります。

佐久間正文

議員



問 SDGsについて

SDGsは、2030年度までに達成すべき国際的目標の17ゴールがあり、7項目め「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、13項目め「気候変動具体的な対策を」とあります。東京都は2025年、神奈川県は前倒しの2024年から新築住宅に太陽光パネルの設置をします。

①太陽光パネルの導入についての考え方を伺います。
②風力発電についての考え方を伺います。

答 企画財政課長

太陽光発電については、東京都において、2050年ゼロエミッション、2030年カーボンハーフの実現に向けて再生可能エネルギーの利用拡大を推進するため、202

5年に新築建物を対象とした太陽光発電の設置義務化制度の施行を進めるなど、脱炭素社会の基盤の確立とエネルギー安全保障の確保について、積極的な取り組みを行っていることは承知しております。しかし、離島という立地条件にある本村において導入を検討するに当たり、利用によるメリット、デメリット、島嶼地域特有の塩害などを考慮する必要があります。

また、豊かな自然環境との両立において、自然公園法の指定区域を有していることなどから開発可能領域が限定され、限られた面積での設備導入が必要となります。

以上のことから、現時点において積極的な太陽光パネルの導入についての考えはございませんが、引き続き現在進めております三宅村に適した再生可能エネルギーの導入を



検討するための風況調査など、島に最も適した、費用対効果の高い再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えております。

風力発電の導入に係る進捗（しんちよく）状況等につきましては、現在三宅村に適した再生可能エネルギーの導入を検討するため、風況調査を進めているところであります。

再 太陽光パネルの塩害に対して効果のある物が出ていますので、検討していただければと思います。

また、太陽光パネルと自然的な目標になっておりますので、進めていただくようお願いをします。

それから、風力発電の考え方について調査をしていると思います。サタドー灯台の海側に風力発電をした跡が残っており、写真も残っております。当時は、風が強く耐えきれないということをやめたそうです。昭和30年代には行っており、世界的に風力発電の傾向となっておりますので、三宅島においてもいろいろな弊害があることは事実です。しかし、太陽光パネル、風力発電につきましては、引き続き調査していただきたいと思えます。

答 企画財政課長

再生可能エネルギーの導入につきましては、防災面や環境面等の観点からも、本村にとって重要な課題であると認識しております。

今回の風況調査の結果も含まれて、他の再生可能エネルギーを比較し、島に最も適した再生可能エネルギーの導入に向け、迅速に対応してまいります。

問 フードショックについて

今後の農作物の安定化、漁業の安定化、水産物の供給体制の確立、漁業者の就業、将来の養殖に対する考え方を伺います。

世界の人口は2050年には91億人と見込まれ、世界の食料不足が懸念されております。また、一国の侵略により世界中が食料困難となり奪い合いになってるのが現状であることはご承知のことと思えます。

21世紀になり、自給自足が求められ、将来に備える必要性を感じています。生きる土台としての転換が必要と考えます。第6次三宅村総合計画の中にも、以下の事項が記されていますが、2点伺います。

①農業作物の安定化について

での考え方を伺います。
 ② 漁業の安定化、水産物の供給体制の確立、漁業者の就業、将来に向けての養殖の考え方について伺います。

答 観光産業課長

農業作物の安定化については、各種の支援等を通して、農業後継者の確保、育成を図ります。併せて、生産性を向上させるため農業基盤の整備を図り、特色ある農産物の開発、農業収入の向上、安定化に向けて新たな農産物の加工品の開発支援や販路拡大とPRを進め、農地に対するニーズを把握し、東京都農林水産総合センター等の指導を受けながら、遊休農地等の利活用を図ってまいります。

次に、漁業の安定化ですが、安定的な漁業生産の持続に向けて各種の支援等を通して、漁業後継者の確保・育成を図っております。

また、水産物の供給体制の確立ですが、三宅島産水産物の地産地消を推進するとともに、産地直送等の新たな販路開拓や未利用水産物の有効活用方法について検討します。

養殖につきましては、施設整備や魚種などさまざまな課題はありますが、漁協と協議し、費用対効果を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。

再 世界の人口のリミットは80億人と試算され、それを過ぎますと、自分自身で食べ物を調達する時代となっていきます。

養殖について前向きな答弁と、トライしていただけると認識しました。漁師たちが海に出て漁をすることが本来の姿ですが、養殖で食料不足を解決する方法を考えていかなければいけないということ、質問をさせていただきました。

長野県ではムロアジ養殖が行われ、できれば、くさやの復活もできると期待をしております。安定化に向けて養殖をお願いしたいと思います。それから、農業の後継者の方も来ていただいで、本当に喜ばしいことだと思います。

しかし、後継者の方の苦労は販売ルートです。どう販売をしてあげればいいのかが大切なことと思います。自分で耕して、種をまいて育てて、刈って、袋詰めして販売をしている。1人でやっている状況下です。行政としてもいろいろな角度から支援をしていたら、生活もできますし、継者もできると考えておりますので、ぜひお願いしたいと思っております。

以前には、アンテナショップ

プもあったと思うのですが、現在アンテナショップはどういう状況になっていきますか。

答 観光産業課長

今、アンテナショップについてはゼロ件です。

再 事情があつてゼロ件になったとは思いますが、今はどういう考え方ですすめられるのか、お聞きします。

答 観光産業課長

三宅村直営のアンテナショップはゼロ件ですが、島しょ振興公社等が実施していただいている島嶼地区の農産物や魚介類といったお土産品を扱っているお店は竹芝棧橋にあり、新中央航空の調布の飛行場にも自販機を設置していただいているところです。

三宅村独自のアンテナシ



ショップですが、現状で必要か、必要でないかを含めて検討してまいりたいと考えております。

問 伊ヶ谷港について

拡張の進捗状況について伺います。

関係者機関と協議の上検討してまいりたいと令和4年第一回定例会で答弁されておりますが、協議がなされたのか伺います。

答 企画財政課長

港湾、漁港の整備等につきましては、現在計画的に実施されている整備工事の完了および村が継続して行っている要望事項の実現が最優先課題であると考えます。

村といたしましては、現在の整備工事の進捗状況を注視するとともに、村からの要望が採択されるよう、引き続き協議を行ってまいります。

令和4年第一回定例会において、議員からいただきましたご提言につきましては、現時点において関係機関と情報共有を行った段階です。今後関係機関から意見聴取などを行い、村民の安全性、利便性向上を考慮した要望を行うべく今後の村としての要望内容を検討してまいりたいと思

北川 博史
議員



問 神社の整備や清掃などについて

当村に観光で来られる目的の一つに、鳥、巨木と並び、神社があると思います。私たちは、普段何げなく暮らしているため、あまり気にもしていませんでしたが、三宅島は全国的に見ても神社の数が多く、改めましてネット等で検索し、再認識しました。

昔から信仰心の強い日本人は神様を大事にしております。実際私も亡くなった祖父から、この島にはたくさん神様がいらっしゃるからみんな平和に暮らしているんだと聞かされ育ちました。

その神様を祭る神社ですが、富賀神社や二宮神社、御笏神社や権取神社など、特定の神社は掃除などが行き届いていないもの、そのほかの神



社に至っては草木が生い茂り、とても参拜できる環境ではないように感じます。もちろん、山の中にぼつんとある社までとは言いませんが、せめて都道沿いにある神社などは清掃や整備を行い、観光客や一般の住民の皆さまが参拝しやすい環境を提供するべきではないかと思えます。

もちろん、神社は村の所有物ではないため、宮司さんなどの許可等、勝手にできないことは認識しておりますが、観光の一つになっていく以上、改めて考えていくべきではないかと思えますが行政としての考えを伺います。

【答】 観光産業課長

三宅島内にある一部の神社については、村としましては、看板等を設置し観光資源の一つとして活用をさせていただいておりますが、行政が神社を始めとする宗教施設全般の清掃や整備を行うことは法的に難しいと考えます。都道沿いにある小さな神社やほころは、過去に個人や神

社により設置され、代々、地域住民や氏子の清掃や整備により現在に受け継がれてきているところとです。また、神社等の観光資源としての利活用については宮司との話し合いを今後検討してまいります。

【再】

このたびの質問の経緯に至ったのは、島外の方からの言葉で私も気になり自分なりに神社を回りましたが、鳥居はあるけれどもどこに社があるか分からない場所などがあり必要性を感じたため、行政の方もそれを少しでも認識していただきたく思い質問させていただきました。

自然な環境にあるので、古くなり朽ち果てそうなものもあり危険なため、注意喚起等していただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

【答】 観光産業課長

危険な環境にあるという部分でお答えできるかと思いますが、そういったところについては注意喚起等できる限りのことは検討していきたいと思えます。

【答】 副村長

先ほどの答弁の中で、神社等の観光資源としての利活用については、今後宮司と話し合いを検討しているというこ

とです。なので、神社やほこらについて、やはり個人、地域等で造ったものなので、宮司さんにきれいに管理していただけるかと村としてはありがたいところも含めて、その辺のお願いもしてまいりたいと思えますので、よろしくお願いたします。

石井 肇
議員



【問】 生活環境の改善について

生活環境の改善について、島内において可燃ごみ集積所の環境整備として、蓋つきの箱型容器を設置できないか伺います。

現在、島内の可燃ごみ集積所は、漁網などを利用し、木枠、鉄枠で区画されており、木枠、鉄枠や鳥獣被害の防止や、外見・衛生面の対策、また住民の皆さんの生活環境の改善を図っていただきたいの



で、ペットボトル、瓶、缶を回収している不燃ごみステーションのような蓋つきの箱型容器を設置できないか行政に伺います。

【答】 地域整備課長

可燃ごみの集積所の設置や管理は、個人の土地を利用し、自治会や企業等の皆さまで管理していただき、村といたしましては感謝しているところです。

ご質問の蓋つき箱型容器の設置については、現状の集積所は小さくさまざまな大きさであり、かつ、屋根つき集積所も見受けられ、住民の皆さまが工夫され設置されたものです。

今後も自治会の協力を得ながら、現在各自治会に村から支出している補助金を活用し、集積所の設置等をしていただき、環境維持のために、引き続き住民の皆さまのご協力をお願いいたします。

曾我部 宏一
議員



【問】 三宅村ファミリー・サポート・センターについて

三宅村ファミリー・サポート・センターについては、利用者の経費負担を軽減してほしいということで、利用単価の見直しを提言させていただいたところですが、その後、本事業に対する経費の問題について検討していただいたのか。

また、来年度当初予算の編成に当たり、どのような形で反映できたかを、まず第1点目としてお伺いいたします。

【答】 福祉健康課長

三宅村ファミリー・サポート・センター利用単価の引下げについてはご質問にお答えいたします。

本年第1回定例会一般質問での議員からのご提言を受け、担当課では、子育て支援

策充実のための三宅村ファミリー・サポート・センター利用料金軽減について、次の2点を来年度予算編成に反映させております。

1 点目は、利用単価を現在の1時間800円から半額の400円で利用できるように、軽減措置を図りたいと考えております。

2 点目は、保育所入所基準で3号区分に該当する1、2歳児が仮に保育園へ入所できずに待機扱いとなり、その代替としてファミリー・サポート・センターを利用された場合、住民税課税世帯についてはファミリー・サポート・センター利用料金の軽減措置を設けていきましたが、来年度はその世帯が保育園へ入所したときの保育料相当額を上回った部分を軽減したいと考えております。

問 村道における雨水対策について

大雨が降ったときに、側溝蓋を集水性の高いグレーチング蓋に取り替える改修工事を行っていただきたいという提言をさせていただきます。今年度、島内の村道で改修工事を行っていたら、その路線名、または工事内容をお聞かせください。

また、先ほどのファミリー・サポート・センターと同様、

令和5年度の当初予算にこの雨水対策に伴う経費等を計上する予定があれば、併せてお伺いいたします。

答 地域整備課長

ご質問の集水性の高いグレーチング蓋への取り替えですが、今年度実施しましたのは、神着地区にある仲尾線1カ所です。グレーチングの交換を実施しております。また今後、坪田地区の上山線の1カ所でもグレーチングの取り替えを予定しております。

次に、来年度は、予算計上の予定としては村道十駄ヶ池1号線の排水設備を予定しております。

問 令和4年度における公共事業の進捗について

本年度も残すところ僅か3カ月程度になりました。そこで、第3回定例議会において公共事業のスムーズな事業の進捗についてをお願いしたところですが、その後の契約状況などについてお伺いいたします。

答 企画財政課長

11月末における投資的事業の発注率ですが、契約予定件数51件に対し契約締結済みが46件であり、約90%です。達成率につきましては、支払いまでを含めた事業完了件数が

21件となり、約41%です。

また、未契約5件中1件のみ、関係機関と協議の結果、令和5年度に先送りを行った事業があります。その1件を除く4件につきましては、工期等を配慮し計画的に事業実施を行うことで、年度内に完了するよう進めております。今後も計画的な事業実施を心がけ、事業執行を遅延なく進めるよう努めてまいります。

再

今、担当課長のほうから、51件中46件、90%、また支払い済みについては21件という、50%に達していない状況で、なおかつ先送り、さきの総合開発委員会の中でも、事業費の見直しとか、円安、世界状況の中でどうしても部品が入らないなど、さまざまな問題がある中で工事発注というのは大変だとは思いますが、今後進捗管理を十分しながら工期内完成を目指していただけたらかお伺いいたします。

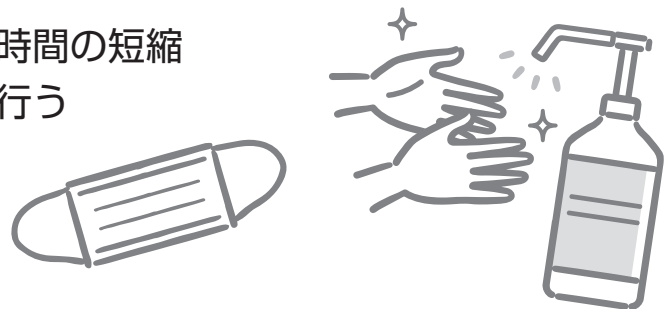
答 企画財政課長

島内での工事発注者である三宅支庁とも、島内の公共事業が円滑に実施できるよう、情報共有、意見交換の場を現在も設けているところです。今後も継続して情報共有を図りながら、計画的な工事発注に努めてまいります。

三宅村議会開催に伴う新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とし、12月開催の定例議会において以下のとおり対応しました。

- 議案審議の整理による会議時間の短縮
- 行政報告、質疑等を簡潔に行う
- マスクの着用
- 消毒液の設置
- 換気の実施



議長報告書

令和4年8月25日～令和4年11月22日

1. 出張関係

- 令和4年11月10日(木)、11日(金)
- 令和4年度東京都町村議会議長会
管外先進町村議会調査出席(福島
県小野町)

3. 行事・来島者関係

- 令和4年9月24日(土)
- ふれあいらんど三宅島マリンス
コーレ21フェスティバル出席
- 令和4年10月16日(日)
- 三宅村防災のつどい出席

2. 会議関係

- 令和4年10月23日(金)、24日(土)
- 第25回「たくみの里豊楽まつり」
出席
- 令和4年11月8日(火)
- 第40回離島振興市町村議会議長全
国大会出席
- 令和4年11月9日(水)
- 第66回町村議会議長会全国大会出
席
- 令和4年11月10日(木)
- 東京都島しょ町村議会議長会第1
回臨時総会
- 令和4年11月15日(火)
- 全国過疎地域連盟第54回(令和4
年度第2回)総会出席

- 令和4年10月29日(土)
- 三宅村防犯のつどい出席
- 令和4年11月12日(土)
- 第33回巨木を語ろう全国フォーラ
ム東京・三宅島大会出席
- 令和4年11月19日(土)
- 2022 WERRIDE三宅島エン
デューロレース出席
- 第23回三宅島産業祭出席



編集後記

第四回定例会も終わり、一年間の時間の経過の速さを実感しているところです。

今年の世相を表す恒例の一字は「戦」でした。この数年間続いている見えない敵、新型コロナウィルスとの「戦い」はまだまだ続き、世界中の誰一人として予期せぬ「戦(いくさ)」がロシアによるウクライナへの一方的な傀儡(かいらい)化を強要する軍事侵攻は、多くの国に悪影響を波及させ、結果として、原油の高騰、食料不足、円安にともなう物価高と「戦う」状況となりました。

一方では、良い「戦い」もありました。サッカーワールドカップにおいては団結の大切さやピッチ内にあるボールを一ミリ内まで諦めず全速力で可能性にかけたプレーは世界中の人々に感動をもたらしました。

まだまだ続く「戦い」を議会と行政、本島民の三位一体により、これらのことが連綿しないよう「戦う」ことが何より大切なことと考えます。

二〇二三年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

議会だより編集委員長

佐久間 正文



クロマグロの水揚げ

フォト ギャラリー



船祝い

- フォトギャラリーコーナーに掲載する村民の皆さまの身近な写真をお待ちしております。詳細につきましては議会事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ先

発 行：三宅村議会
住 所：東京都三宅島三宅村阿古497番地
電 話：04994-5-0956
担 当：議会事務局